

# 津別町住民満足度調査

(令和3年11月実施)

## 集計結果報告書

令和4年3月

津 別 町

昨年11月に実施いたしました「住民満足度調査」につきまして、あらためてご協力いただきました皆さんに感謝申し上げます。

集計結果がまとまりましたので、お知らせします。また、皆さんから寄せられました意見についても、代表的なものを集約して掲載させていただきます。

お問い合わせ：住民企画課企画係

## 目次

<b>1 調査の概要</b> .....	<b>P 2</b>
(1) 調査の目的	
(2) 調査方法	
(3) 調査票の配布及び回収結果	
(4) 集計結果の取り扱いについて	
<b>2 回答者の属性</b> .....	<b>P 3～6</b>
(1) 性別	
(2) 年齢	
(3) 職業	
(4) 居住区域	
(5) 居住年数	
(6) 今後の居留意向	
(7) 携帯電話の所有	
<b>3 調査の結果</b> .....	<b>P 7～27</b>
【問1】「環境にやさしいまちづくり」の取り組みについて	
【問2】「国際交流、都市間交流」の取り組みについて	
【問3】「森の健康館(ランプの宿森つべつ)」及び「森林セラピー事業」の取り組みについて	
【問4】「津別町の観光施策全般」の取り組みについて	
【問5】「津別町の子育て支援施策全般」の取り組みについて	
【問6】「津別町の住宅施策全般」の取り組みについて	
【問7】「町道整備と除雪」の取り組みについて	
【問8】「バス無料乗車券」及び「重度障がい者無料タクシー券」交付事業の取り組みを含めた高齢者や障がい者の交通事情について	
【問9】「地域公共交通」の取り組みについて	
【問10】「学校教育」の取り組みについて	
【問11】「社会教育」の取り組みについて	
【問12】「まちなか再生事業」と「公共施設整備」の取り組みについて	
【問13】「おまつり」の取り組みについて	
【問14】「津別町多目的活動センター(さんさん館)」の取り組みについて	
【問15】「地域情報化」の取り組みについて	
【問16】「行政の情報発信等」の取り組みについて	
【問17】「職員の接遇」の取り組みについて	
【問18】「財政運営」の取り組みについて	
【問19】「津別町全体」の取り組みについて	
【問20】町民の幸福度が上がるために、必要だと思うこと(その他自由記載)	
<b>4 意見に対する回答</b> .....	<b>P 28～29</b>
(※) 印のある意見について、回答をしています。	

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

- ・第6次津別町総合計画を基本として、様々な施策を展開しておりますが、住民の皆様にとっての満足度を数値として捉え、事務事業の見直しや予算編成等、今後の町政運営に反映させるため。

## (2) 調査方法

- ・調査対象 令和3年10月1日現在町内在住の18歳以上の町民
- ・配布数 1,000人
- ・調査区域 津別町全域
- ・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- ・調査方法 郵送方式（料金受取人払いの返信用封筒を添えて郵送）

## (3) 調査票の配布及び回収結果

- ・調査票配布数 1,000人
- ・有効回収数 311人
- ・有効回収率 31.1%

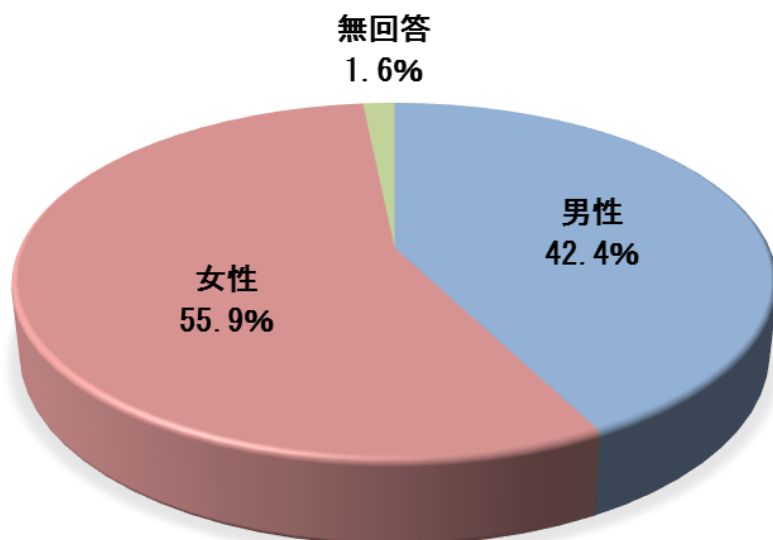
## (4) 集計結果の取り扱いについて

- ・各項目の集計結果は百分率で表示しています。
- ・記述された意見等の中から、代表的な意見等と思われるものを選択、集約させていただいています。大変申し訳ありませんが、すべての意見等を載せられなかったことについて、ご了承ください。
- ・集計結果や皆さんからの意見等を、これからの町政運営に反映させていくこととしています。

## 2. 回答者の属性

### (1) 性別

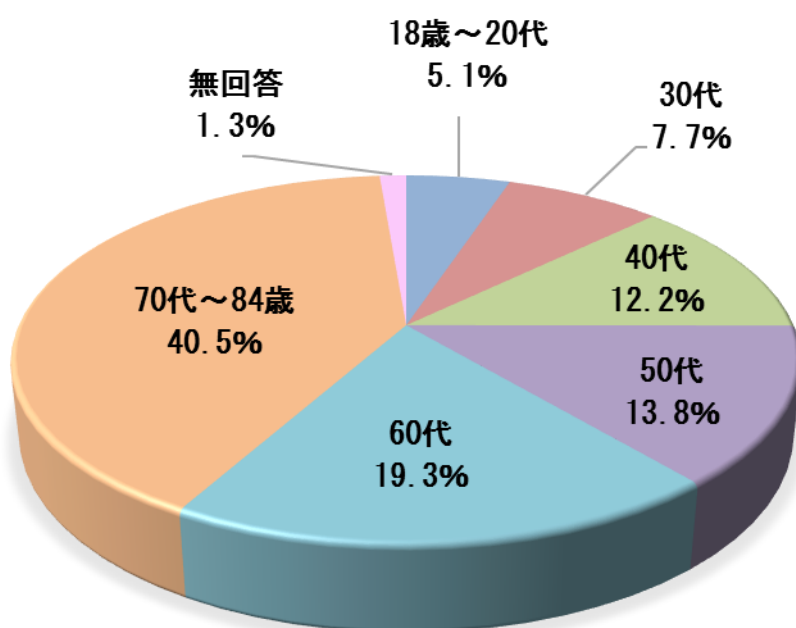
性別では、「男性」が42.4%、「女性」が55.9%でした。



性別	人数
男性	132人
女性	174人
無回答	5人

### (2) 年齢

年齢別では、「70歳以上」が40.5%、「60歳代」が19.3%、人口比率に準じ高年齢層からの回答者が多くなりました。

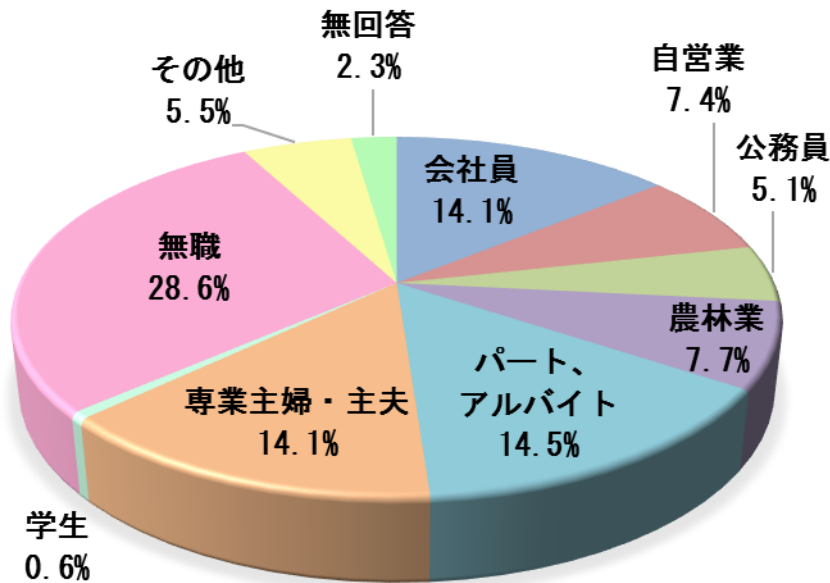


年代	人数
18歳~20代	16人
30代	24人
40代	38人
50代	43人
60代	60人
70代~84歳	126人
無回答	4人

### (3) 職業

職業別では、年齢構成と同様な傾向から定年退職等を迎えた方々を含む「無職 (28.6%)」が最も多く、次いで「パート、アルバイト (14.5%)」「会社員 (14.1%)」「専業主婦・主夫 (14.1%)」となりました。

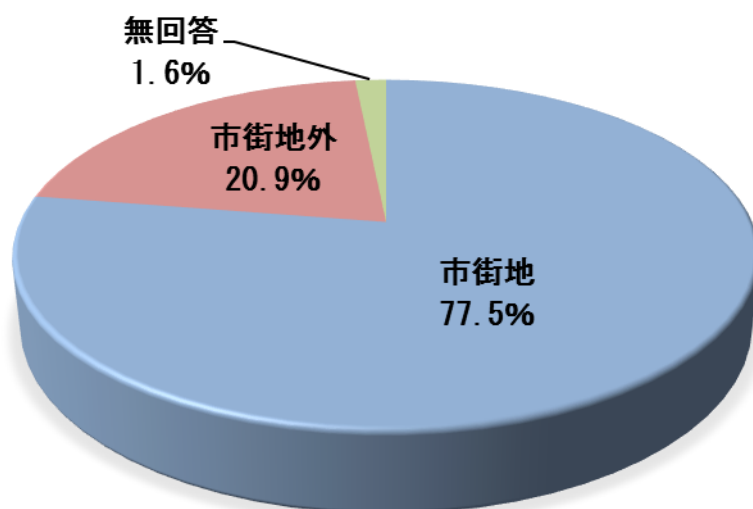
「会社員」「自営業」「公務員」「農林業」を合わせた“勤労者”については、34.3%となりました。



職業	人数
会社員	44人
自営業	23人
公務員	16人
農林業	24人
パート、アルバイト	45人
専業主婦・主夫	44人
学生	2人
無職	89人
その他	17人
無回答	7人

### (4) 居住区域

居住区域別では、「市街地」からの回答比率が77.5%、「市街地外」は20.9%の結果となりました。

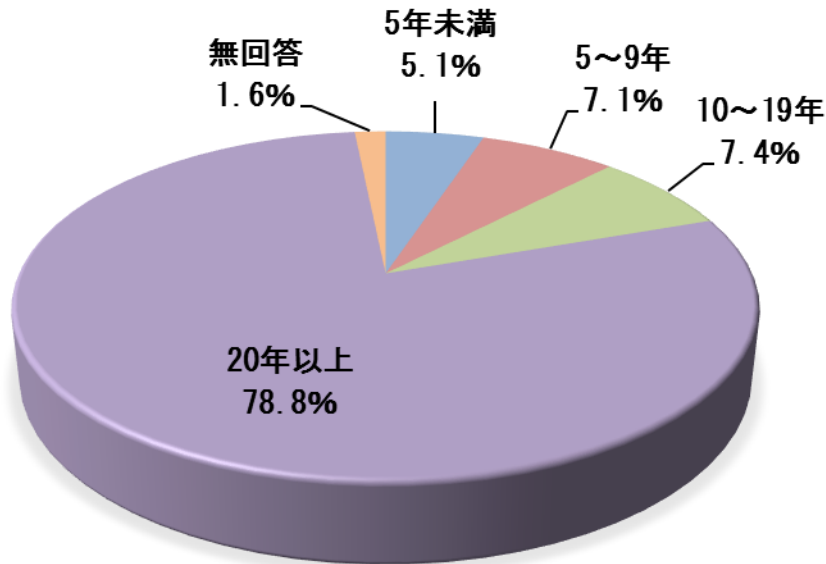


居住地域	人数
市街地	241人
市街地外	65人
無回答	5人

市街地～幸町、本町、西町、緑町1・2・3、新町、東町、旭町1・2・3、柏町、  
 豊永2・3・4、共和2・3・4、高台町、達美町の各自治会地域居住者  
 市街地外～上記以外の自治会地域居住者

### (5) 居住年数

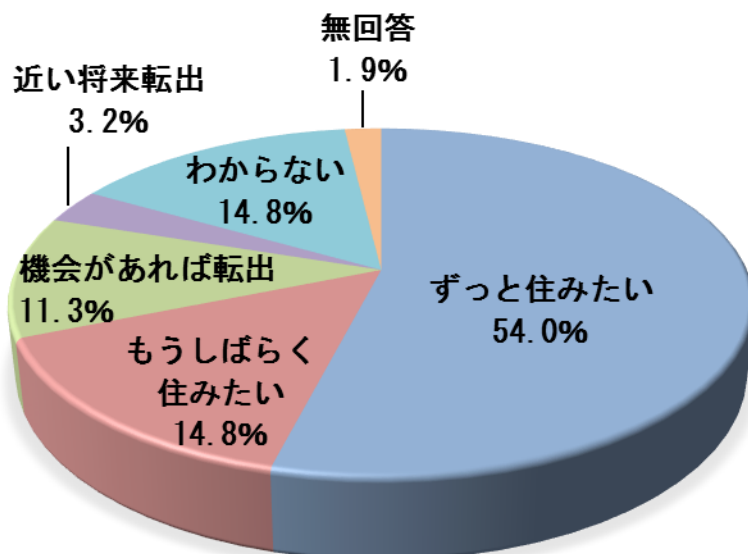
居住年数別では、「20年以上(78.8%)」が最も多く、「5年未満(5.1%)」が最も少なく、「5年～10年未満(7.1%)」、「10～20年未満(7.4%)」となっています。



居住年数	人数
5年未満	16人
5～9年	22人
10～19年	23人
20年以上	245人
無回答	5人

### (6) 今後の居留意向

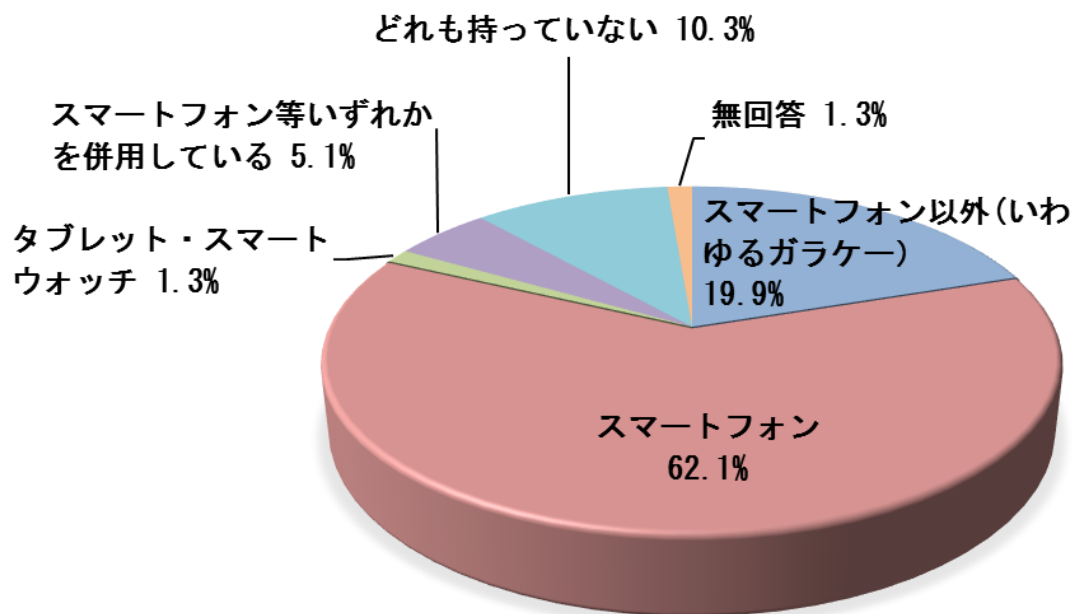
今後の居留意向については、「今後もずっと住み続けたい(54.0%)」と「もうしばらく住んでみたい(14.8%)」の2つを合わせると68.8%となります。「機会があれば転居したい(11.3%)」と「近い将来転居する予定(3.2%)」の2つを合わせると14.5%という結果です。



今後の居住	人数
ずっと住みたい	168人
もうしばらく住みたい	46人
機会があれば転出	35人
近い将来転出	10人
わからない	46人
無回答	6人

## (7) 携帯電話の所有

「スマートフォン」が最も多く(62.1%)、「いわゆるガラケー」は19.9%、「どれも持っていない」は10.3%、「タブレット・スマートウォッチ」は1.3%でした。また、携帯電話等のいずれかを所有している方は合わせて88.4%となりました。



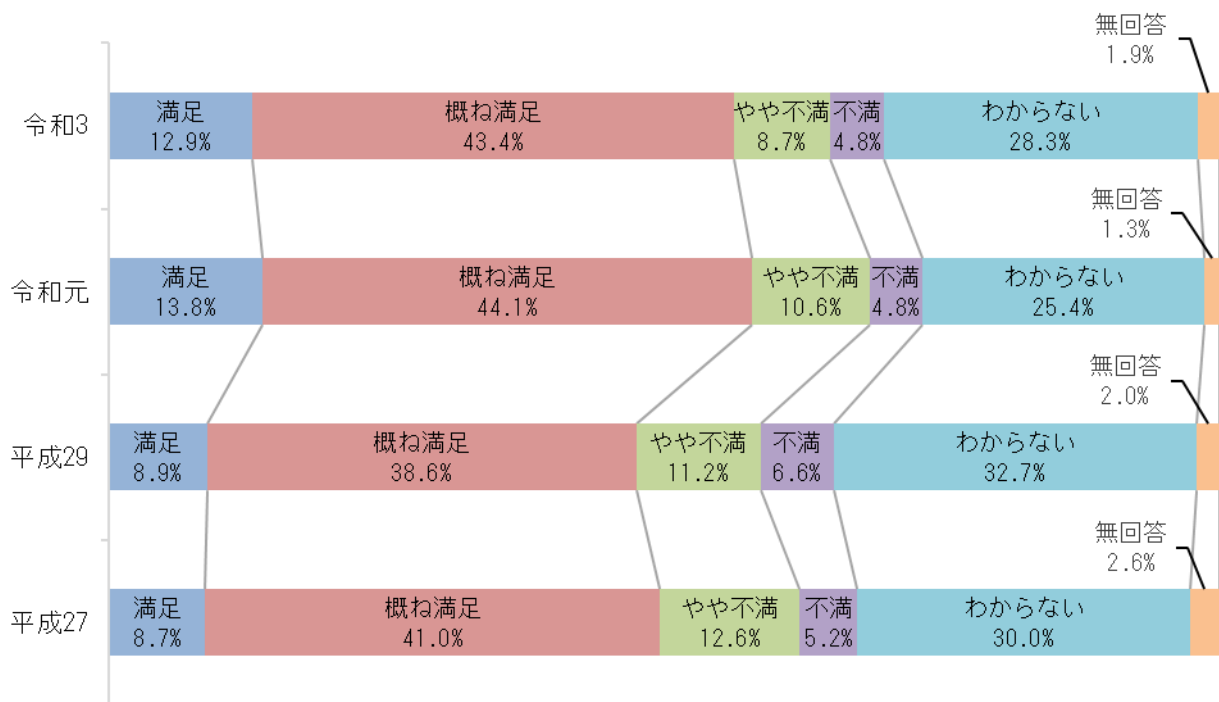
携帯電話の所有	人数
スマートフォン以外(いわゆるガラケー)	62人
スマートフォン	193人
タブレット・スマートウォッチ	4人
スマートフォン等いずれかを併用している	16人
どれも持っていない	32人
無回答	4人

### 3 調査の結果

#### 【問1】「環境にやさしいまちづくり」の取り組みについて

津別町では、バイオマスタウン構想を策定して、木質バイオマスの推進、木質ペレットによる暖房用燃料の利用推進、家庭に設置する太陽光発電施設の導入支援等を行っています。また、環境にやさしい農業として、有機・減農薬栽培といった施策を推進しています。これらの事業の基本理念となる環境基本計画を平成26年3月に策定し、環境にやさしいまちづくりを進める取り組みを行っています。また、ゼロカーボンに向けた取組を開始するところです。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	40人	135人	27人	15人	88人	6人



#### ご意見・ご提言(全56件)

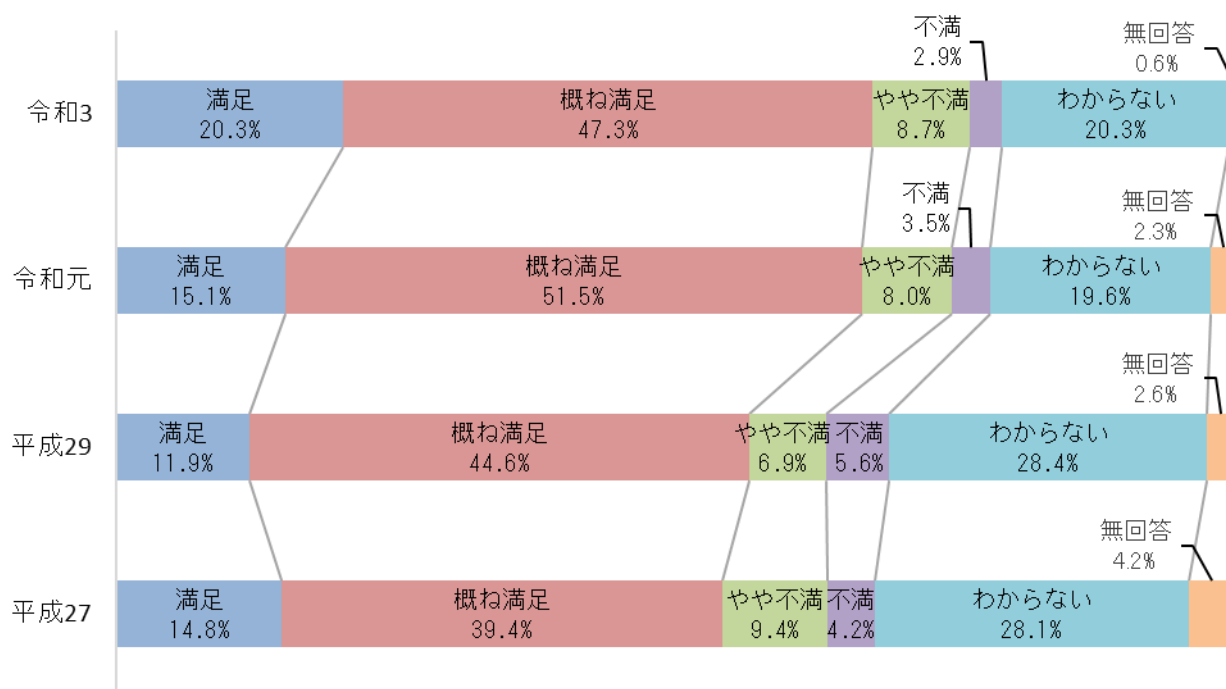
- 木質バイオマスタウン構想は「木の町つべつ」として今後も積極的に推進していくべき取り組みである。
- 太陽光発電も町内で少しずつ多くなっている気がします。より多くの導入を期待します。
- 一丸となっていくのはなかなか難しいと思います。
- 木質ペレット等に対して導入支援を行っているが、既に化石燃料を利用している者にとってはさほど嬉しい支援策とは思えない。
- 導入支援等を行っているとはいえ、値段が高くて買えない。また、ペレットストーブを買ってもペレット燃料費も高いイメージ。
- 住民目線まで降りてくるような明確な取り組みはみえてこない。ペレット暖房も、個人宅の普及は進んでいないように見える。



## 【問2】「国際交流、都市間交流」の取り組みについて

津別町では、新型コロナウイルスの影響で中止している交流事業について、収束後は千葉県船橋市や姉妹都市の山梨県南アルプス市と、子どもたちを交互に派遣する青少年交流、特産品の物産交流、職員交流等を再開する予定です。また、友好都市提携を行った台湾二水郷との中学生を交互に派遣する交流事業を再開する予定です。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	63人	147人	27人	9人	63人	2人



### ご意見・ご提言(全68件)

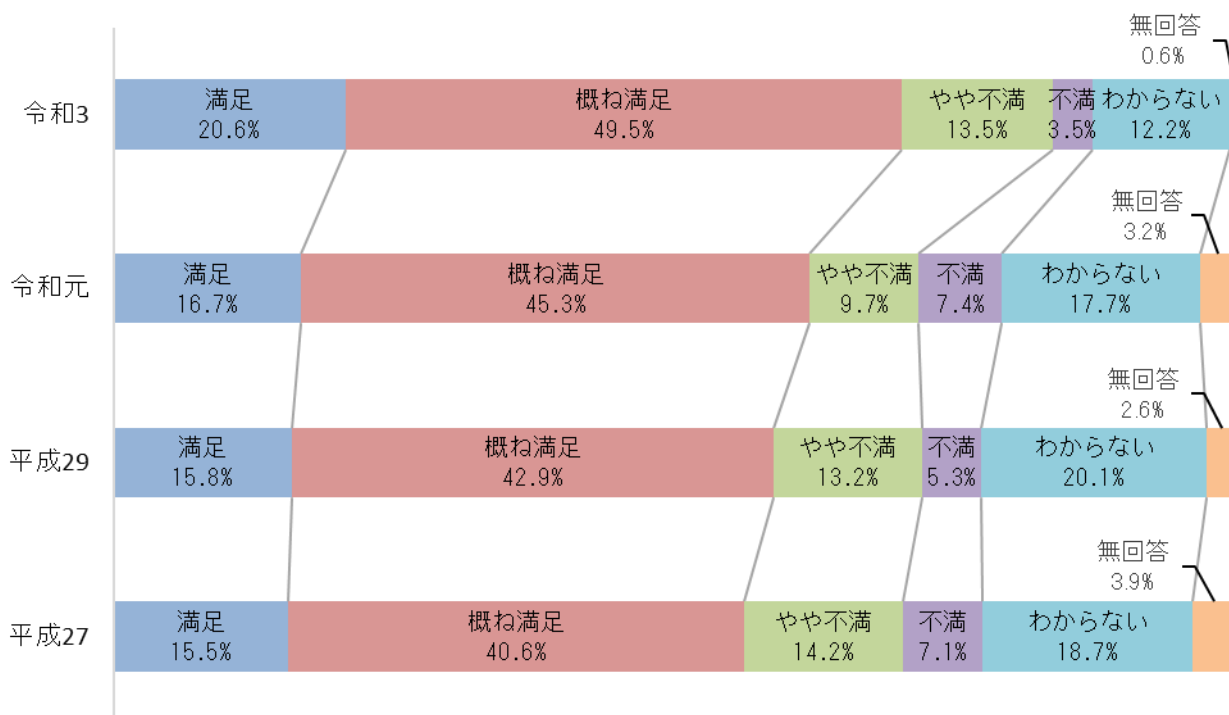
- 特に子供において交流事業は大切な事業だと思います。近隣町村においても積極的に交流事業を行ってはいいいのではないのでしょうか。
- 子供たちの視野を広げ、他地域や自分の住む町の魅力に触れるよい機会だと思う。
- 学生のうちから交流することができる、経験ができるのはすばらしいことだと思います。物産品の交流は、私たちもうれしいです。
- 将来的にも推進してほしいが、内容がマンネリ化しないように時代に合わせて変えた方がよいと思う。
- 子どもたちの視野を広められる事は評価できる。しかし、友好都市提携では、何が効果をもたらされているのか見えない事が課題と考える。
- 子どもの人数は、大変減っているなので、交流も減少でよい。

### 【問3】「森の健康館（ランプの宿 森つべつ）」及び「森林セラピー事業」の取り組みについて

津別町では、上里地区にある森の健康館（ランプの宿 森つべつ）について、指定管理者として民間の業者に管理・運営を委託しています。町民の利用促進のために、入浴優待券の配布や無料送迎バスの運行を行っています。

また、上里の町民の森が、安らぎを与え、健康を回復・維持するなどの森林浴効果がある「森林セラピー基地」に認定されています。セラピーガイドは、NPO法人で対応しており、ネイチャーセンターを拠点に、町内外からの交流人口の拡大が期待されています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	64人	154人	42人	11人	38人	2人



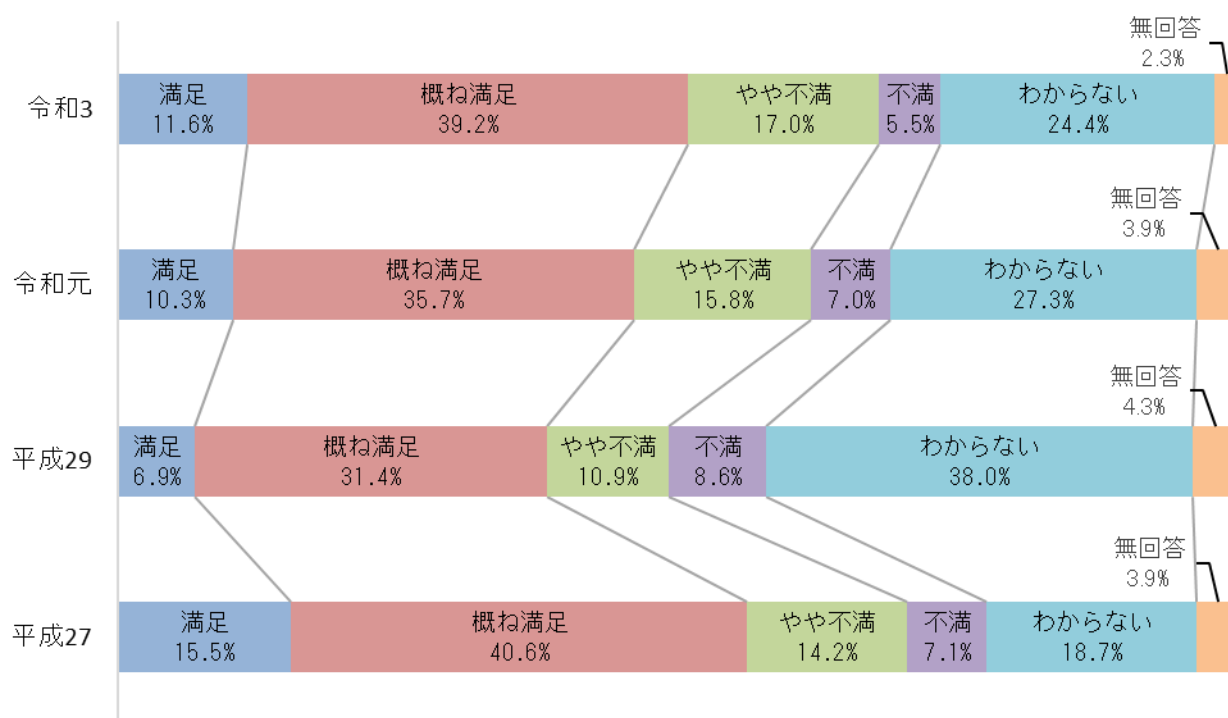
#### ご意見・ご提言（全79件）

- 津別町ならではの取組だと思います。自然を生かしたセラピーは都会から来る人には魅力的だと思います。
- 入浴優待券の他、年間パスなどあると買いたい。
- 地元に温泉施設があるととても助かります。今後施設が継続してもらえますよう願います。
- 森林セラピー基地は知らなかった。せっかくいい事をしているのに、お知らせする方法が悪いのか、多くの人に知ってもらえず残念だと思います。
- 観光施策との連携が足りないような気がします。
- 毎年、多額のお金をつぎ込み、運営を委託しているようですがのちのち住民負担（税金）が増えるのではと心配しています。

## 【問4】「観光施策全般」の取り組みについて

津別町は、津別峠やチミケップ湖などの観光資源を有しています。また、阿寒摩周国立公園に接し、知床世界自然遺産、網走国立公園、大雪山及び釧路湿原国立公園へも日帰り圏内に位置しています。新型コロナウイルスの蔓延に伴い去年は激減しましたが、外国人旅行客を呼び込む動きは令和元年まで加速化し、北海道や全国でも大きな動きとなっていました。津別町でも、本年法人化した観光協会が行う事業に対して支援するなどの取り組みを行っています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	36人	122人	53人	17人	76人	7人



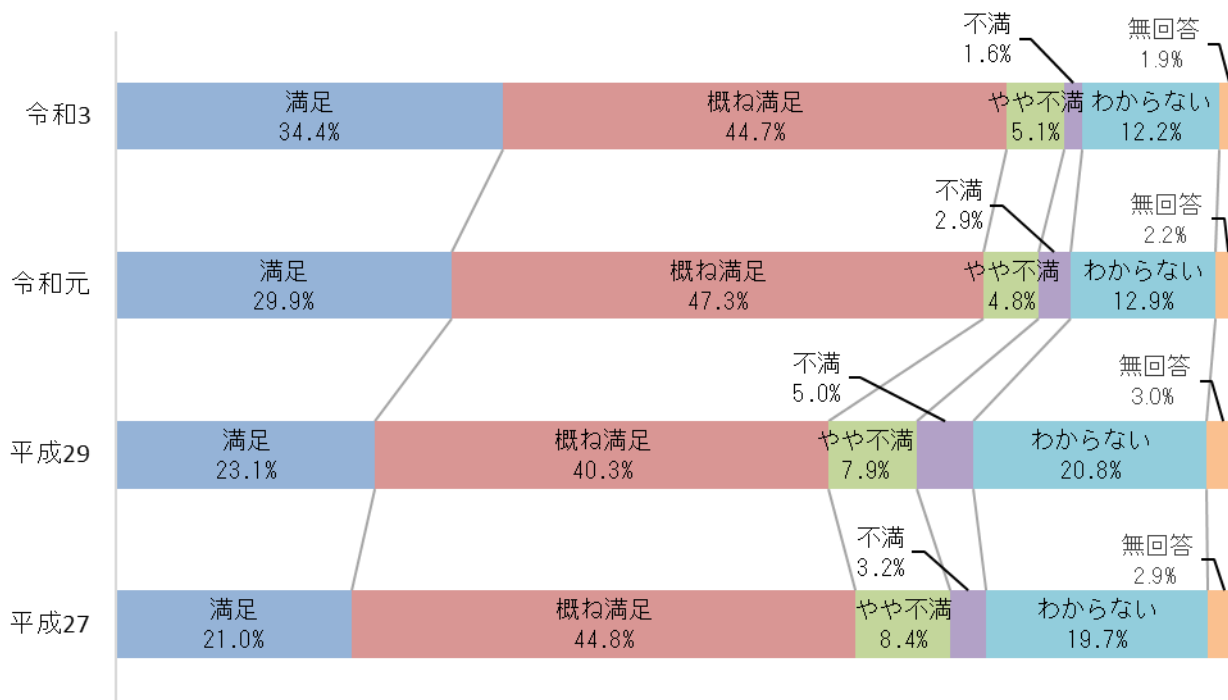
### ご意見・ご提言（全63件）

- コロナの中、できる範囲で頑張っていると思います。
- インスタに載せれるような場所を作ってみたり、若者から年配者まで津別に行ってみたいと思ってもらえる観光資源を生かした事業を行ってほしい。
- 津別町は立地的には滞在型ではなく通過型だと思います。少しでも滞在していただき町にお金を落としてもらえるような方法を考えてみてはいかがでしょうか？
- NPO 法人化した観光協会は、もっともっと新たな事業展開を行うべきである。
- 観光する場所があっても、町が潤う様な施設等がない、通過するだけの町であるのが残念。
- コロナが完全終息するまでは控えて欲しい。

## 【問5】「子育て支援施策全般」の取り組みについて

津別町では、少子化対策及び子育て支援策として、18歳までの子どもの医療費無料化、乳幼児養育手当支給事業、認定こども園に対し国の幼児教育・保育の無償化に加え、給食費・教材費を無償化、保育料の軽減、多子世帯軽減の対象拡大、また、新生児誕生祝品事業、子育て支援センター事業などを行っています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	107人	139人	16人	5人	38人	6人



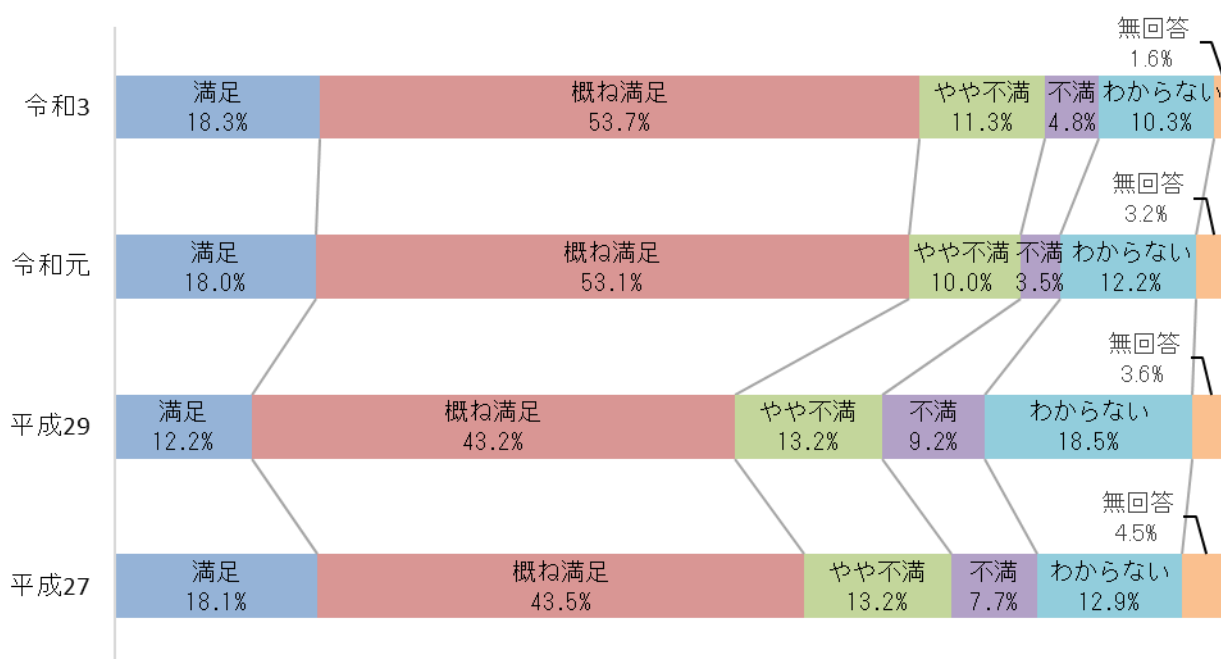
### ご意見・ご提言 (全59件)

- 子育て世代への支援が手厚いと感じる。町外と比べると尚のこと。取り組みアピールしてはどうか。
- キノスも人気があり、今後図書館も子供たちに夢を与えるステキな空間となるように期待しています。多くの若い世代が移住してこられるように。
- 町内でもう少し育児用品の置いてあるお店が増えると良いな……。町内の公園のサビの目立つ遊具の整備をして欲しいです。その他はとても良い!
- 新生児誕生祝のセンス悪い。服はすぐ着られなくなった。(品物は良いけど) 現在は何を送っているのか知らないが、もう少し考えてほしい。アンケートをとるとか。
- 子育てにはお金がかかるのは当然です。その認識を持たないと子育てを人任せにしてしまう傾向があります。

## 【問6】「住宅施策全般」の取り組みについて

歩いて暮らせる町づくりをめざし、町営住宅については、旭町のまちなか団地や西町団地、特定公共賃貸住宅建設など古い住宅の建替え事業を行い、まちなか居住の推進を行ってきました。また、起業等振興促進条例等により民間の賃貸住宅事業を支援することで新たな住宅建設を促進し、空き家対策として空き家バンクなどによる情報発信や撤去費用の補助などの取り組みを行っています。さらに、新ふるさと定住促進条例及び空家活用促進事業により、一定の条件を満たした住宅の新築・購入、改修工事に対して奨励金・補助金を交付しています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	57人	167人	35人	15人	32人	5人



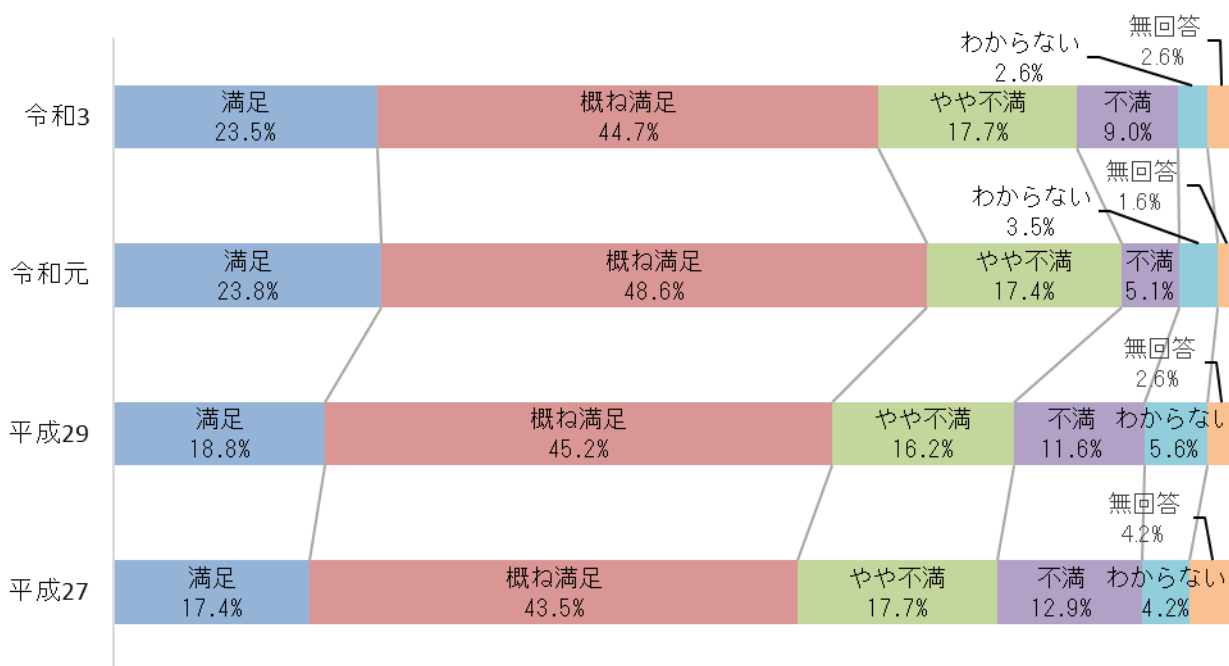
### ご意見・ご提言（全61件）

- 他の地方より、幾人もの方々が来られ、少数とはいえ徐々に効果、期待できると考えます。
- もっと空き家バンクを町外の人に広めて、移住者が増えることを期待します。
- 古く、建材等が飛散したりしていた空き家が目に見えて減少しているので、子供や地域の危険が減っていてよかった。
- 世帯向けの賃貸住宅が少なすぎるので、何か対策があれば町外へ行く人が減るかも。
- 今後、住宅の老朽化による環境悪化が心配されると思います。住宅、その他の施設の撤去にもっと予算をつけてもらい取り組んでもらいたいです。
- 町営住宅は高く住めなさそう。借家の少なさ、あってもすごく古かったりとても住めなさそうな所ばかり。

## 【問7】「町道整備と除雪」の取り組みについて

津別町の基幹となる道路については、「町道整備計画」に沿って改良舗装を進めるとともに、毎年一定の予算枠を設けて維持補修を行っています。歩道については、損傷度を数値化して優先順位を定めた「歩道補修計画」に基づき、順次補修をしていきます。また、除雪体制については、降雪量10センチメートルを目安として除雪機械を出動させています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	73人	139人	55人	28人	8人	8人



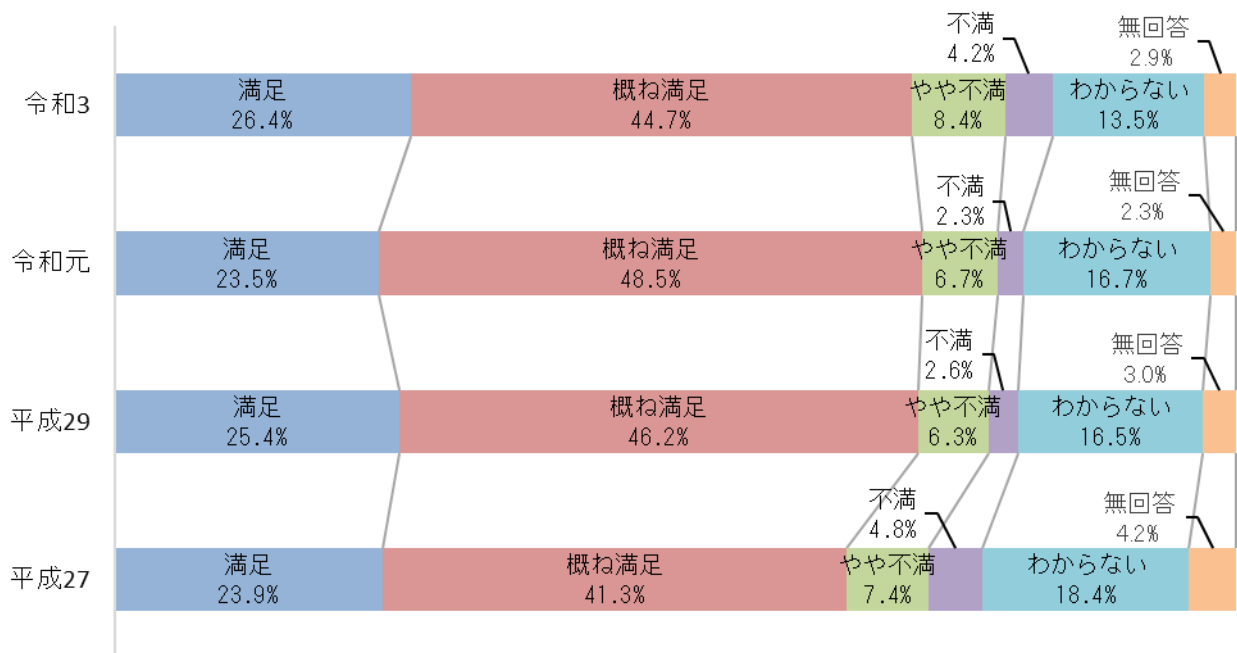
### ご意見・ご提言（全69件）

- 除雪や補修は、ほかの町と比べて、しっかりしていると感じます。ありがとうございます。
- 除雪はよくされているイメージがあるので、今後も維持してほしい。
- 道路維持補修は予算の範囲内で行うものであるのですが、大変だとは思いますが、まんべんなく行ってほしいです。道路わきの木の伐採を積極的に行ってほしいです。
- 通勤時間帯、学生の登校時間帯の除雪はやめた方がよい。もう少し早い時間帯に行っていただきたい。あぶないので！
- 車道は除雪されますが、通勤時の時間には歩道は何もされてないので車道を歩いて通勤しますが、とても危ないです。
- 歩道の陥没箇所が凍り、足を取られ何度も転倒している。損傷度を基準に進めるだけでなく陥没箇所だけでも応急処置として修復してほしい。

## 【問 8】「バス無料乗車券」及び「重度障がい者無料タクシー券」交付事業の取り組みを含めた高齢者や障がい者の交通事情について

津別町では、70歳以上の高齢者や障がい者に、年間36枚のバス無料乗車券（東岡・活汲・岩富・最上在住者は町内移動用として24枚追加）を交付し、重度身体障がい者の方には、年間24枚の(有)津別ハイヤーで使用できる無料タクシー券を交付しています。また、対象となる障がい者の方々には、通院等の場合の助成事業を実施し、平成29年7月からは福祉有償運送を行っています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	82人	139人	26人	13人	42人	9人



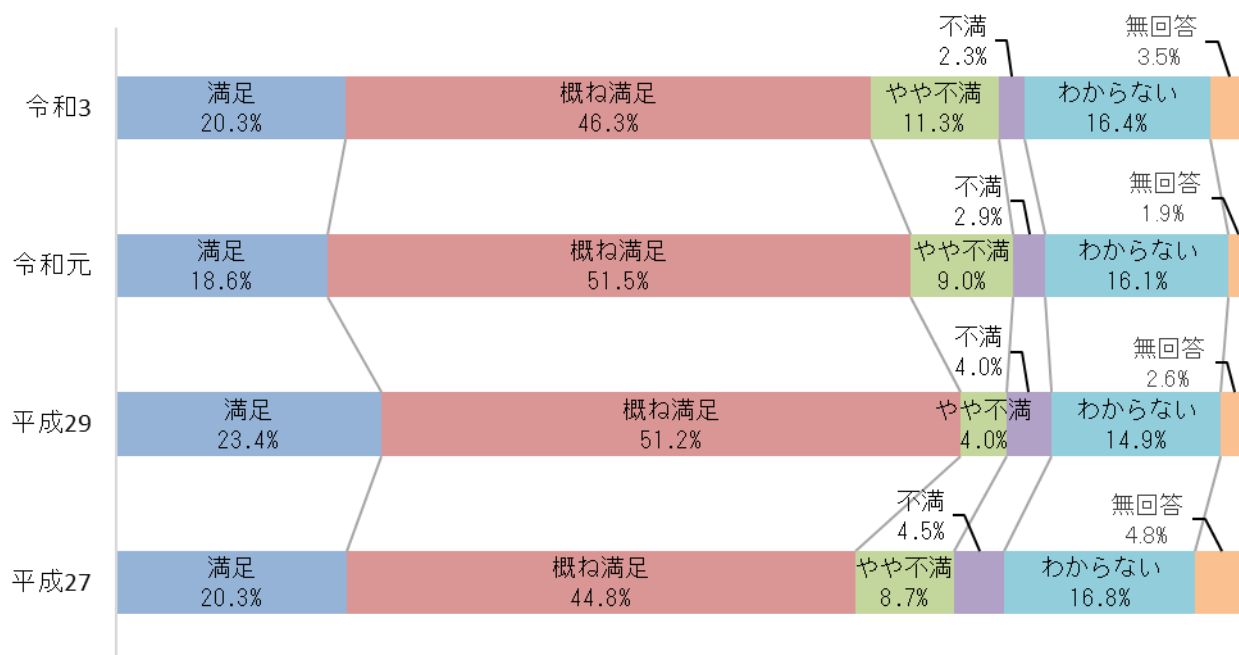
### ご意見・ご提言（全54件）

- 高齢者が多いので、取り組みは素晴らしいと思う。運転免許のない方はもちろん、持っている方が返納しても交通手段が確保できるのはよいと思う。
- とてもありがたく利用させていただいております。是非続けてほしいです。
- バス券について、もし使わないときの分バス会社はその分も支払いをしまっている旨を聞いたことがあります。・・・そんなことはないとは思ってますが、実際は？使用した分ですね。(※)
- バス停まで遠すぎて車が運転できなくなるとタクシーになってしまいます。ゴミ出しも車なので将来的には困ります。
- バス無料券とは北見行きまた美幌行きそれとも町内だけなのでしょうか？（タクシーもよくわかりません）よくわからないのですが、町民がわかる説明がほしいです。(※)

## 【問9】「地域公共交通」の取り組みについて

津別町は、「地域公共交通」として町民の移動手段を確保するため、民間バス事業者への赤字分の負担をしています。また、町内においても移動手段を確保し、効率化を図りながら、スクールバスの混合乗り合いとする「まちバス」を運行しています。現在、「津別町地域公共交通計画」に基づいた持続可能な地域公共交通スタイルの取り組みを進めており、令和3年12月からは、市街地巡回バス（花バス）の運行、また、75歳以上の方（重度障がい者無料タクシー券および福祉有償運送の対象者を除く）には、1枚あたり300円のタクシー利用助成券を交付します。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	63人	144人	35人	7人	51人	11人



### ご意見・ご提言（全47件）

- 1人暮らしの高齢者には交通手段がいろいろな所で援助してくださるのは本当にありがたいです。
- 12月からの花バスの運行が順調にいくよう期待します。改善要する事項がでてきたら柔軟に改善されたい。
- 市街地外で、路線バス停まで歩く距離があり、タクシーを利用しますが、利用助成券を増していただければ助かります。
- 地域内外へのアクセスが不便である声が多いので、免許証を返上した高齢者等が買い物、病院、生きがづくり等に困らないよう交通体系を充実してほしい。
- 地域（住民）だけでなく、観光で来られた方の利便性があってもいいのでは。町の周遊バスなど・・・。
- 利用結果を分析して、拡大、縮小他、検討してほしい（あまり利用頻度はないと思うが）



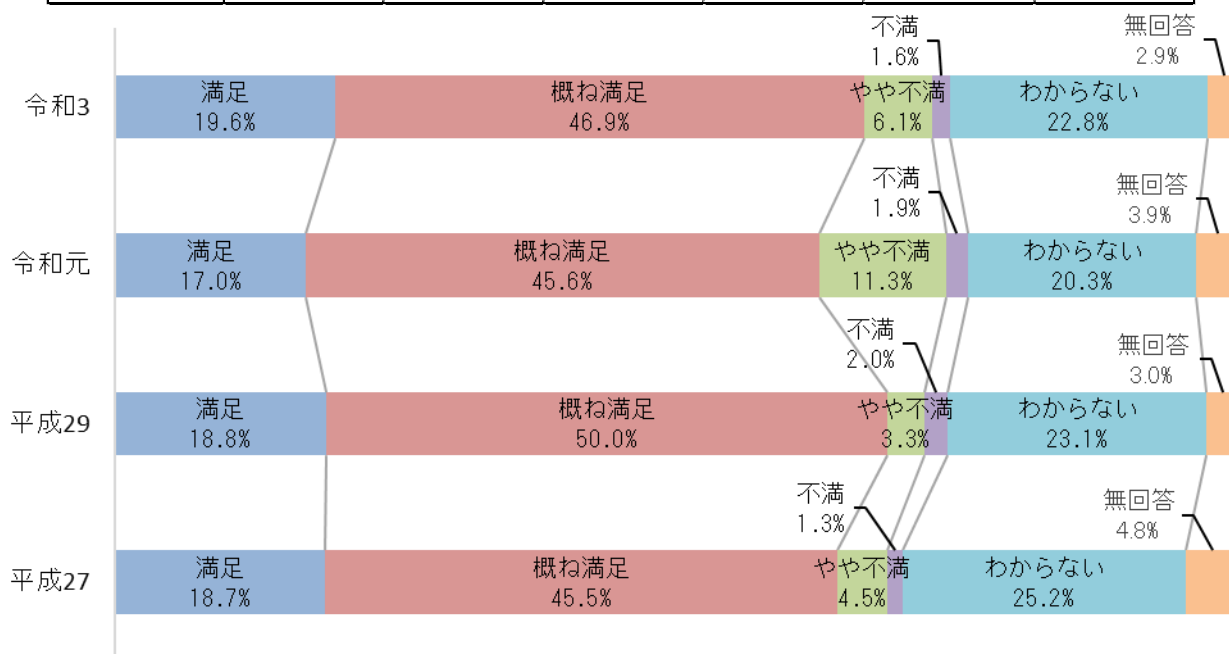
## 【問10】「学校教育」の取り組みについて

津別町では、子どもたちが平等な環境の中で教育を受けられる就学援助制度をはじめ、特別支援教育就学奨励費補助や支援員の配置など、全ての子どもたちが健やかに成長できる環境を整えると共に、令和2年度には国のGIGA（ギガ）スクール構想に基づき、小中学校へ高速大容量の通信ネットワークと1人1端末のタブレットを整備するなど、学校におけるICT環境の整備を進めています。

また、子どもを育てる原点は、家庭であり、学校であり、地域であるとの認識のもと、地域の事業所との学校応援団の協定締結をはじめ、学校便りの全戸回覧など学校と地域が一体となった取り組みを進めています。

津別高校存続対策の一環として、津別高校生徒と町内在住の高校生を対象とした公設民営塾を実施し、令和元年9月より通年化しています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	61人	146人	19人	5人	71人	9人



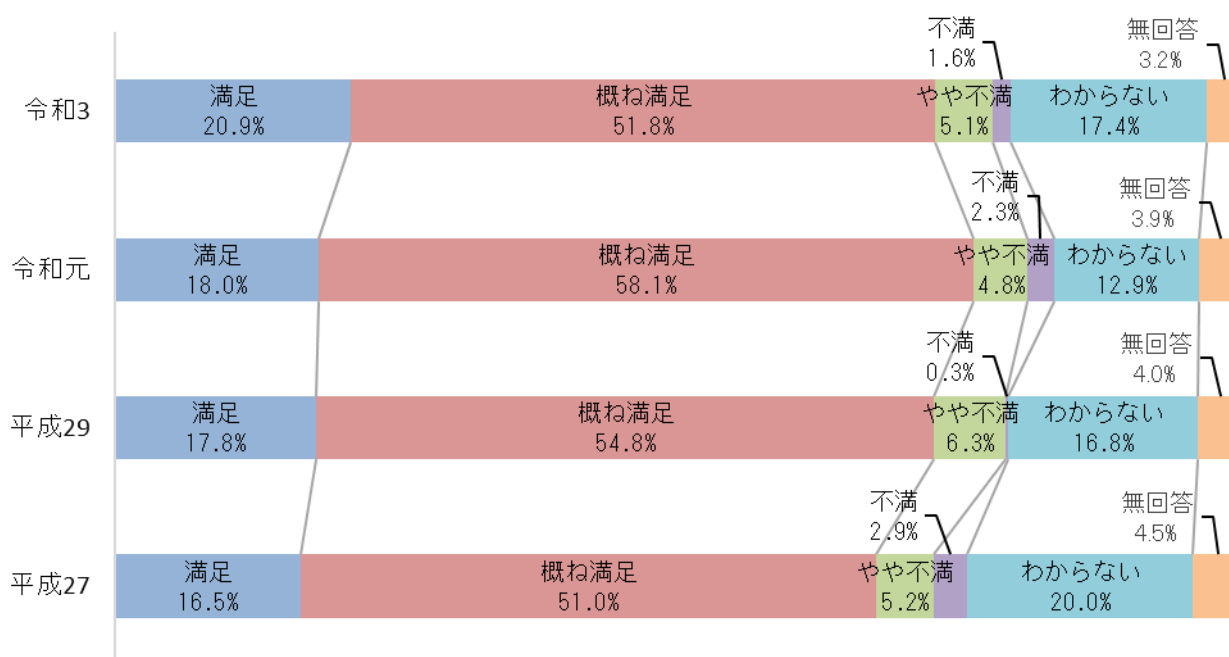
### ご意見・ご提言 (全46件)

- すべての子供たちに手厚く、子育てしやすい町だと思います。
- 回覧で学校だよりを見ると、子育てから離れてしまっても津別の子供たちを見守れる気がしてうれしいです。
- 小、中、高の生徒ですが、町民の方々に挨拶をする、してくれる生徒が多くなり素晴らしいことです！！
- 公設民営塾へ通う学生達の反応はいかに!?また、人数はどの位利用されているのだろうか気になりますね。
- タブレット使用に関して、使い過ぎによる心身へのリスク、コミュニケーションでのリスク回避法など重々に学び、伝えた上での使用を進めてほしいです。
- 中学1年生が通える塾が津別にないので欲しい

## 【問 1 1】「社会教育」の取り組みについて

津別町では、少年期・青年期・成人期各種事業、家庭教育、芸術文化事業、図書活動、高齢者向け事業、児童館活動や放課後児童クラブ事業を実施し、スポーツ関連事業として、健康・体力づくりを目指した学習機会の提供として、水中運動教室、少年少女スポーツ教室、体力測定などを開催し、総合型地域スポーツクラブ「かるっちゃつべつ」と連携して各種事業を実施しています。また、平成30年4月に農業者トレーニングセンターのトレーニングルームをリニューアルして、町民の健康づくりを推進しています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	65人	161人	16人	5人	54人	10人



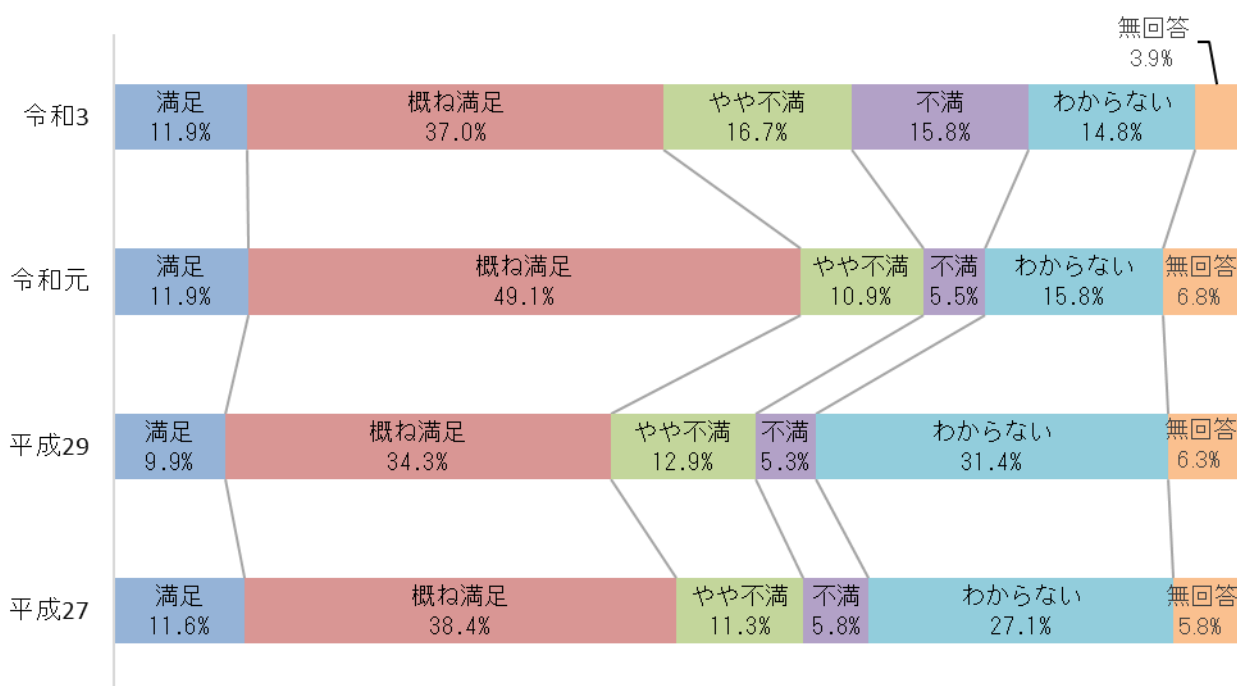
### ご意見・ご提言（全41件）

- 健康づくりは大変によろしいですね。「持続は力なり」と申すので、元気が一番だよね！！
- 人口減少しているが、様々な取組の話は聞くことが多く、活動が見えるので良い。
- 障がい者向けにも何かあれば・・・と願います。親や支援者、世話人ではできない運動や文化活動を支援してもらえたらありがたいです。
- 運動教室など参加してみたいものが沢山ありますが、日程が合わないものが多く残念です。事前申し込みだけでなく、行ったときに申し込んで指導が受けられるものがあるとありがたいと思います。
- トレーニングルームは所得の低い高齢者、障がい者の利用料を無料にしてほしい。
- 有料にして良いと思います。(かるっちゃつべつ) 指導員はボランティアで良いと思います。(※)

## 【問 1 2】「まちなか再生事業と公共施設整備」の取り組みについて

津別町では、中心市街地（「まちなか」）における商業機能の低下による活力の減退や、にぎわいの低下などの課題を解決するため、10年後のまちなかの将来像を共有しながら、効率的かつ持続的なまちづくりを推進し、まちなかの活性化を図ることを目的として、平成30年度に中心市街地の再生計画である「複合庁舎建設等まちなか再生基本計画」を策定しました。令和3年3月に役場新庁舎・健康福祉センターが完成し、同年5月より機能を移転しています。今後も計画に基づき、買い物環境を中心として複合商業施設、図書館及び交通拠点の整備等を具体的に検討し進めていきます。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	37人	115人	52人	49人	46人	12人



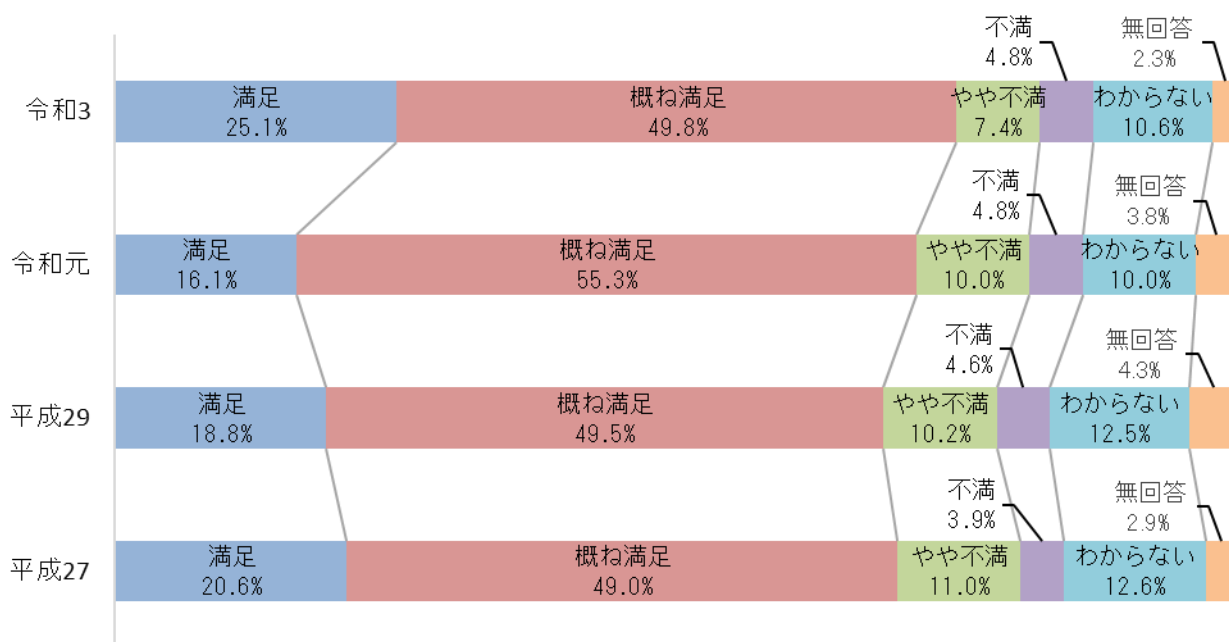
### ご意見・ご提言（全80件）

- まちなかがキレイに整備されるのはとても良いことだと思う。商店街の後継者不足などで店が減っているので、新しく来てくれるドラッグストアには期待。今しかチャンスはないと思うし、変わらないといけないと思う。がんばってほしい。
- まちなか再生事業、公共施設整備の取り組みについては賛成だが、ドラッグストア誘致の可否に時間を費やし過ぎて、全体の議論に至らないのが残念。役場側の良いアイデアが一部の強硬な反対論者により阻止され、平凡なものになっていくのも残念。
- 町民の様々な意見に耳を傾け、事業の合意が得られるよう、もっと住民の中に入って説明すべきです。
- 交付金の縛りにとらわれることなく、益々の人口減少の未来の維持管理費を考えて、スーパー、DS、一緒の複合施設を考えるべき。

### 【問13】「おまつり」の取り組みについて

津別町では、四季のイベントであるクリンソウまつり、夏まつり、七夕まつり、盆踊り大会、ふるさとまつり、産業まつり、アイスクャンドルまつりなどに対し、町の賑わいや交流人口拡大のために、主催する観光協会や実行委員会への助成を行っています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	78人	155人	23人	15人	33人	7人



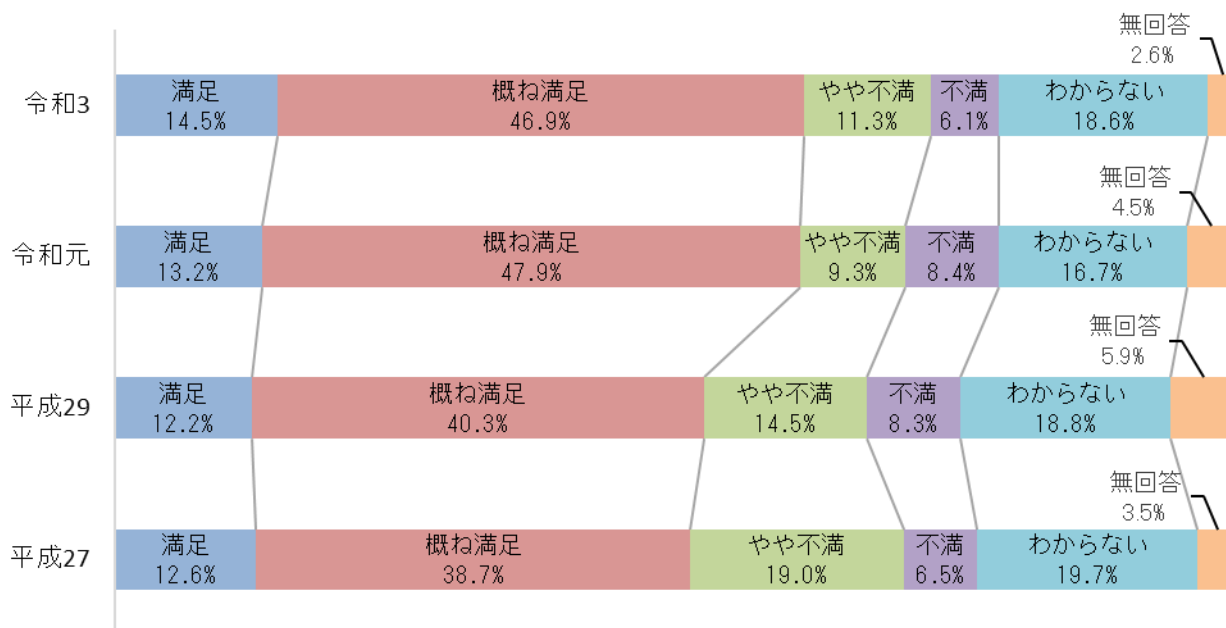
#### ご意見・ご提言 (全56件)

- イベントは積極的に行い、賑わいと交流人口を増やすべき。
- おまつりもマンネリ化しない様に新しいものを考えるといいと思います。  
コロナが収束したらいいおまつりを期待したいです。
- 町のイベントがおおくあるのは町の潤いになるので、そして住民の活気にもつながるので大変良い事と思う。
- もう少しイベントの数を減らして、役員さん、ボランティアさんの負担を軽減すべき (同じ人が担っているので、...)
- 常々、イベントの多さに疑問を感じていました。町職員も疲弊していたと思います。コロナ禍で各種イベントが中止になったことを機会として、イベント数を整理しても良いと思います。
- いつも同じようでもマンネリ...

## 【問 1 4】「津別町多目的活動センター(さんさん館)」の取り組みについて

さんさん館では、中心市街地の活性化や地域住民の交流、観光などの情報発信の活動拠点として、まちづくりセンター運営協議会が主体となり、観光協会とともに活動を行っています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	45人	146人	35人	19人	52人	8人



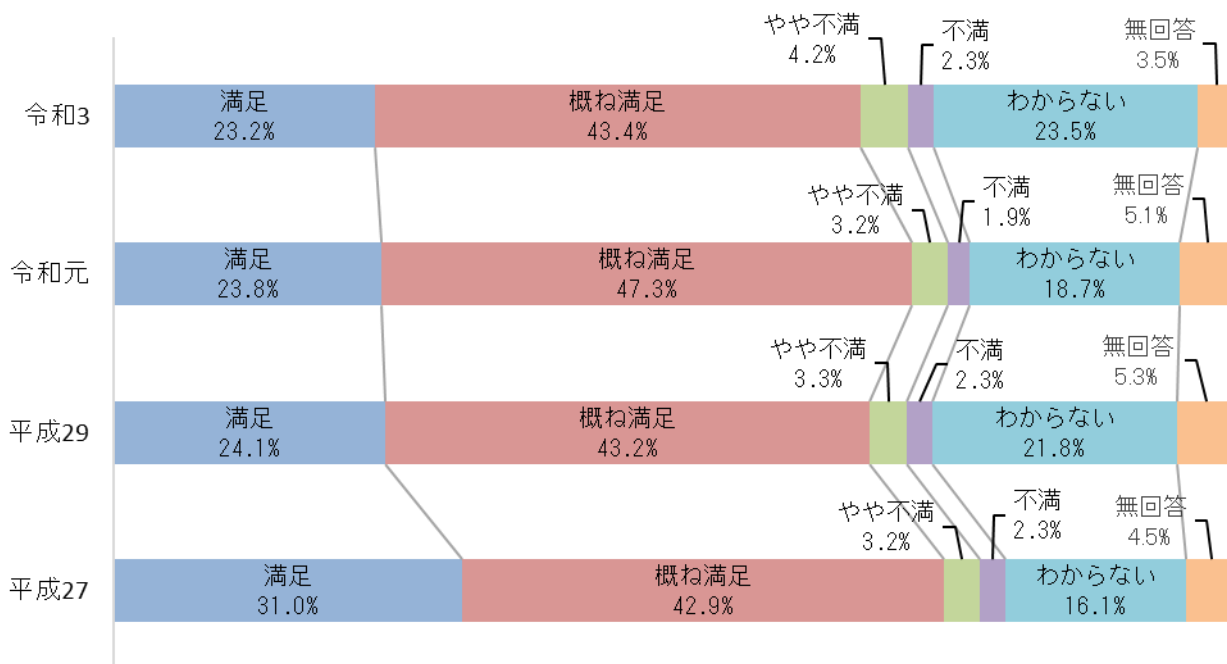
### ご意見・ご提言 (全57件)

- たまに利用しますが、仲間との交流、子供達の学習スペースとして利用しやすい。
- 色々な行事の拠点として、使用、利用されており良いと思います。
- 水曜日休みのためトイレの使用できないがトイレだけでも使用可能にできないか？せっかく他町村にも知られているのに休みの日にも使いたい人もいる。
- アンテナショップとして充実、観光と物産(特産品)をリンクさせた取り組みをとると、よりよいのでは？
- 観光者の拠点になってない。町民は活用しているので憩いの場で利用してるのは良いと思う。
- 立派な施設のわりに、利用者が少ないように思います。

## 【問 1 5】「地域情報化」の取り組みについて

町内における地上デジタル放送の難視聴地域や光インターネットが利用できない地域に光ファイバー網を整備し、テレビ難視聴と情報通信の地域間格差の解消を図り、その環境を維持しています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	72人	135人	13人	7人	73人	11人



### ご意見・ご提言（全25件）

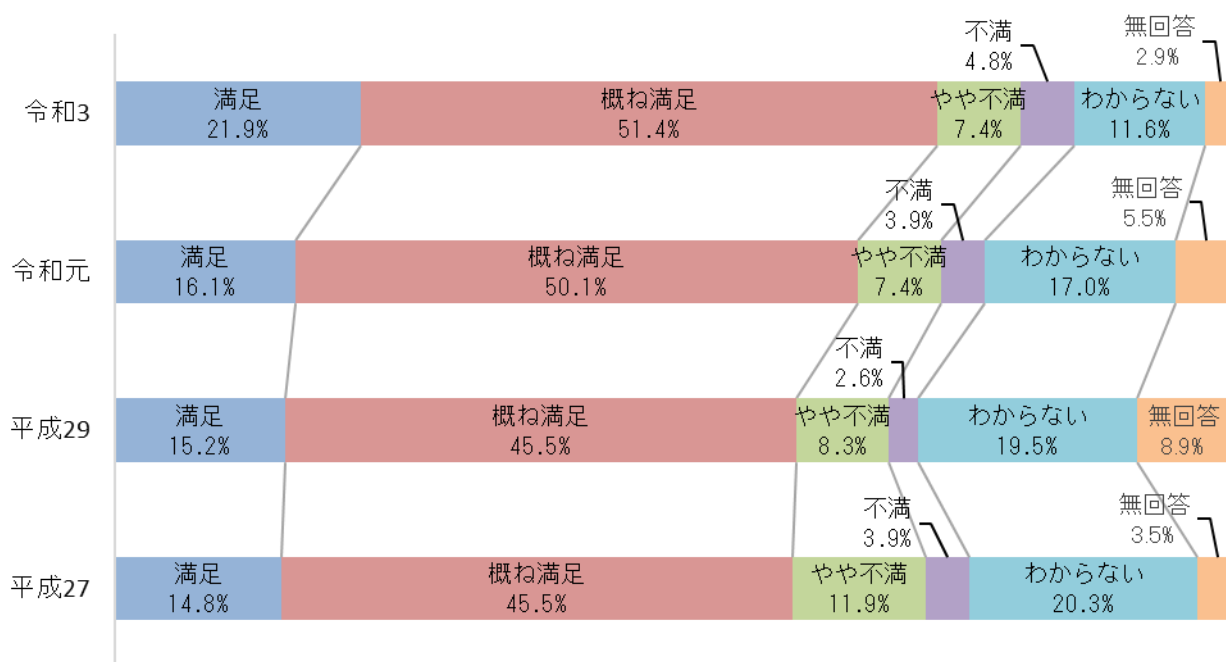
- 当たり前のようにテレビ・ラジオが視聴でき、インターネットに接続できることのありがたみを、つい忘れてしまいがちだが、この設問のおかげであらためて実感しました。
- 自宅への光ファイバーの引き込みが容易で助かった。ただ、周囲の人はあまり利用していないようなので、利用を促す政策に期待。
- ラジオ電波の弱い地区があります。再度点検し、整備願いたい。
- 携帯電話を使用できないところもあり、もしもの場合もあり、早めに全地域で使用できるようにしてもらいたいものです。
- さらに町内全域で携帯電話がつかえるようにすべき。交通事故や山、畑での災害時の対応にも使えるように。
- 市街地であってもインターネット環境が利用できない場所がある。

## 【問16】「行政の情報発信等」の取り組みについて

信頼される町政を進めるため、広報つべつ、ホームページのほかにも「津別町のしごと」「くらしのガイド」などを発行して情報発信をしています。また町民の声が直接行政に反映されるよう、まちづくり懇談会を開催し、満足度調査等のアンケートにより、広く町民から意見を受ける体制作りを行っています。

平成29年4月からは、インターネット広報番組「タウンニュースつべつ」を配信開始し、毎月1回、津別町に関する情報を津別町のホームページやYouTube、町内各所に設置したデジタルサイネージで放映しています。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	68人	160人	23人	15人	36人	9人



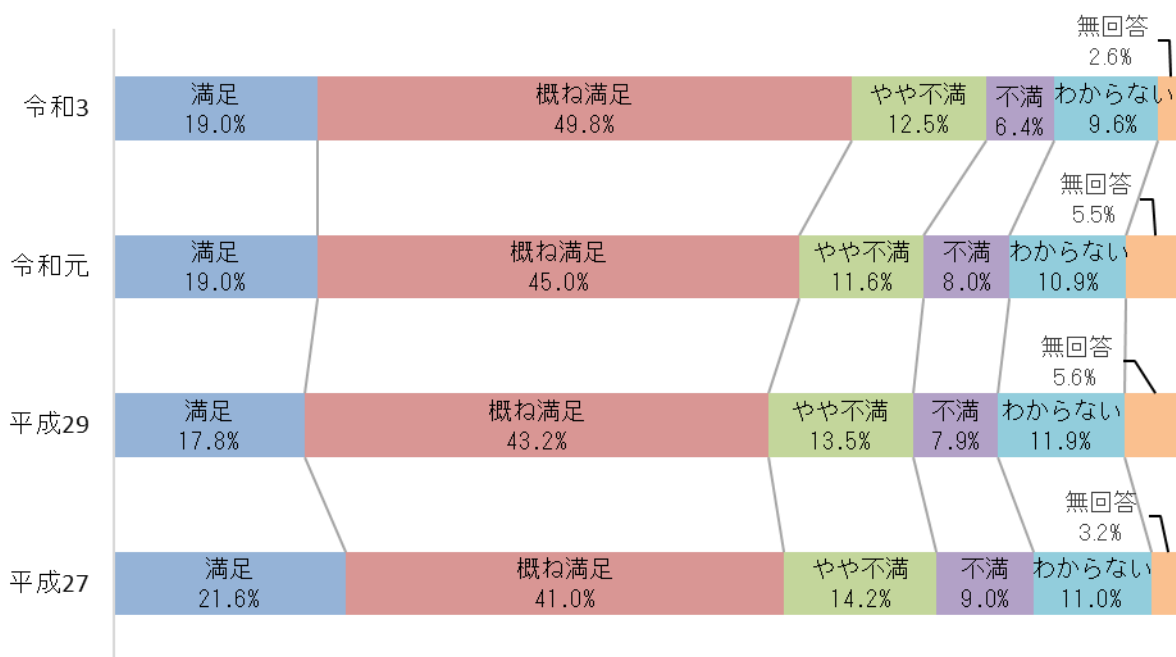
### ご意見・ご提言（全55件）

- 「タウンニュースつべつ」では、今まで知らないことがいっぱいあることがわかりました。続けて欲しいです。
- HPをもたない会社が多いので、津別町のサイトで取り上げてくれ、情報が誰でも見られる状態であることがとてもありがたいです。
- どれくらい発行物を読んでいる方がいらっしゃるのか一度アンケートしてみればいかがでしょうか。ムダになっているかも。。
- まちづくり懇談会に若い世代の人は行くのでしょうか。若い人たちが行政に苦情ではなく、してほしい事などを、メール等で気軽に伝えることができるといいです。
- 高齢者には、インターネットを利用することがむずかしい（出来ない）方が多いと思う。アナログで伝えてほしい事もある。

## 【問17】「職員の接遇」の取り組みについて

役場窓口における応対や電話接受など、「職員接遇向上マニュアル」を基本としながら改善に努めているところです。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	59人	155人	39人	20人	30人	8人



### ご意見・ご提言（全64件）

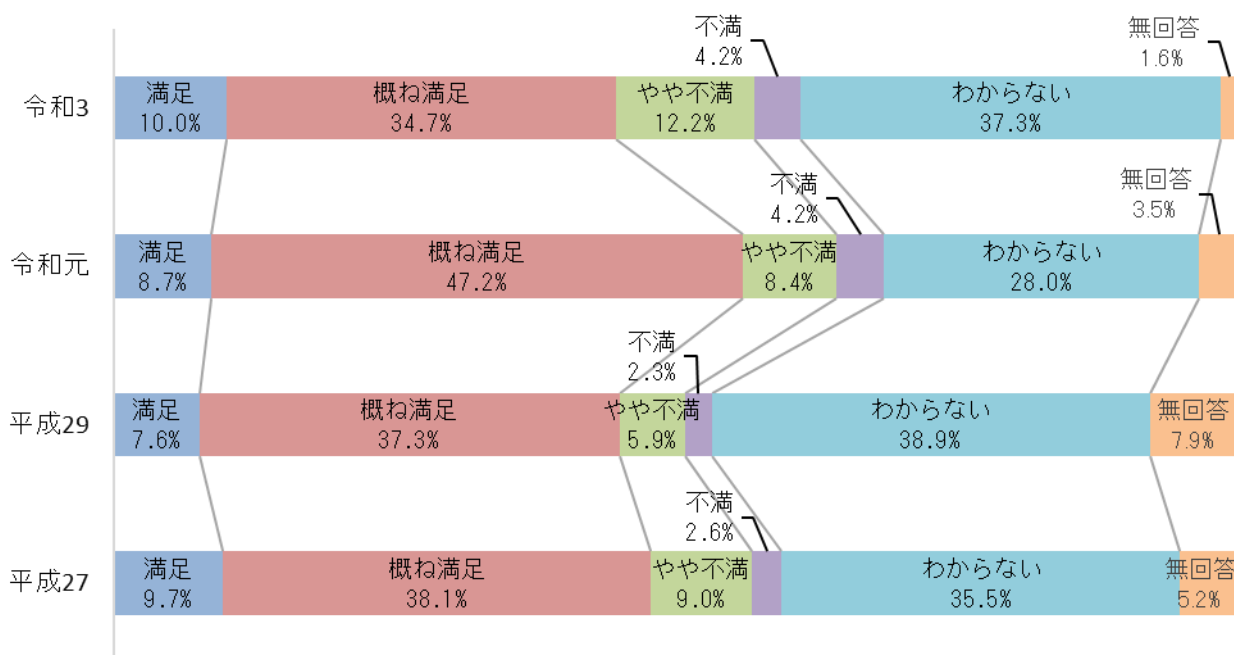
- 町外の人のお話を聞いたが、「津別の職員の対応が良く、みんな親切」と言っていた。私も職員の対応は素晴らしいと考えています。
- 散歩していると職員の方々が、早目の出勤（歩いたり、自転車など）し、あいさつ良く、頑張っている姿は一町民としてほほえましいと感じております。
- 接遇のレベルアップを更にしてほしい。以前に比べるとかなりアップしている。
- 窓口対応の声が小さくて聞き取りにくいことがありました。担当者がわかっても住民のわからない専門的な用語について、もう少し説明してほしいところがありました。
- 役場職員の中で「挨拶」も満足にできない者がいる。職員として一般常識として理解できない。
- わからないならわからないと言ってくると楽。時間を取られるのがいやだ。



## 【問18】「財政運営」の取り組みについて

津別町では、昭和61年に「津別町行政改革大綱」を策定して以降、令和2年には第5期目となる「津別町行政改革推進計画」を作成し、計画的に行政改革の推進に取り組んでいます。また、持続可能なまちづくりを図るために「中期財政計画」を策定し健全（財政）自治体の維持に取り組んでいます。

令和3年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	31人	108人	38人	13人	116人	5人



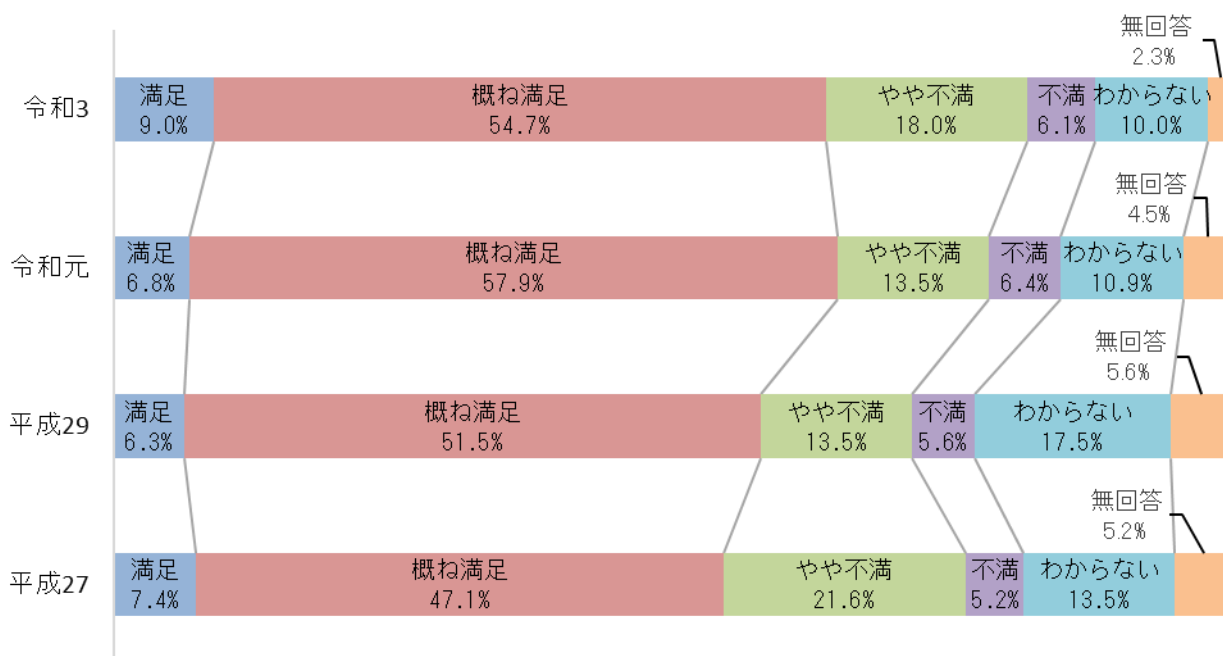
### ご意見・ご提言（全29件）

- 他の町と一緒にならず良かったですよ。人口が多くなる様な何かがあるといいですが。
- 持続可能な財政をもとに（議会と町政が一体となり）町の発展を望みます。
- 町民への更にわかりやすい説明が必要。
- 津別町は人口が少なくなり、老人が多いので公共施設をなるべく町中中心にまとめると大変便利人の出も増えるかなと思います。
- 「箱物」に傾注しすぎているのではないかと？人口減及び高齢化がまぬがれない中で、後年度負担の処理を展望するとき、少なくとも、現段階でもっと冷静に対処すべきではないか。
- がんばっても人口はどんどん減っていく。何か違ってないか？
- アンケート等を行っても、反映、活用されていると感じない。

## 【問 1 9】「津別町全体」の取組みについて

総合的に考えた場合の満足度についてお答えください。

令和 3 年度	満足	概ね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
回答者数	28人	170人	56人	19人	31人	7人



### ご意見・ご提言 (全 4 4 件)

- 人口が減っていく一方で、いろいろな事に取り組み努力していると思います。
- 全体的にはおおむね満足ですが、この先人口減少、高齢化が進む中で本当に必要な物は何かもう 1 度総合的に考え限りある財源をむだにしないようお願いいたします
- コロナが終息していない中、割引券が配布された事、ありがたく思っています。津別町外の人から、津別町はいいね、うらやましいと言われました。
- 逆に今後、どのような街づくりを行政では考えているのか聞いてみたいです。お年寄を中心としてやっていくのか、若者を立てていくのか？みたいな・・・
- とにかく街中の空き家、空き店舗がひどすぎる。人口減少率も管内トップ！津別といえば” 暗い町 ” のダークイメージが広がっている。発想の転換が求められている。
- 子供と高齢者向けのことは多いが、20～50 代あたりの一般的な会社員に向けての取り組みが少ない。
- まちづくり事業で町民がおきざりにされている様に思います。方向性をはやく決めて事業を進めて欲しいです。

【問20】町民の幸福度が上がるために、必要だと思うことを自由に記載してください。

ご意見・ご提言（全103件）

※ 多数の意見等がありましたので、複数の意見があったものを主に集約しました。

- 人口増加・子供の増加等をするにはほかの町との交流をして街コンや婚活とかも取り組んだ方が良くと思います。お年寄りを大事にするの大事なことだと思いますが、そういう交流も大事だと思います。
- 必要なもの、必要なことが町内で手に入る安心して生活ができる、住み続けたいと思える町が理想。
- 若年層が生活しやすい（経済的不安がない）、子育てしやすいなどの取り組みがさらに活発になると良いと感じます。また、高齢者の方も年齢によって出来ないことが増えないよう（町内外の移動や老後の生活費など）に町で対策して下さると住みやすくなると思います。
- 今日コロナ禍ということもあり、お買い物割引券が配布されましたが、これからも町民の生活を町全体で少しでも軽減させる為発行されればうれしいです。
- 津別町に越してきて20数年になりますが、いまだによそ者あつかいされているような気がします。本当に幸福度を上げたいのならばよそからくる人達にも過ごしやすい街づくりをお願いします
- 健康サロン、ほっと等、人と人のつながり交流は非常に良い事と思います。だからと言って、無理する事のない活動が大切だと思いますね！※役場の職員を多少増員し（財政のことはありますが）福祉関係の充実を図れると良いのではと考えますが？
- 最近はまだづくり懇談会が大きなくくりでの開催になっています。以前のように自治会単位での開催を基本に、生の町民の声を聞くようにすべきではないでしょうか。
- もっと新しいことを勇気をもってやってもらいたい。町議が高齢の方が多いためか、過去の慣例や新しいことに対し否定ばかりで生産性がない。
- 現在の津別病院の事です。今の治療を続けながら老人向けのホームの様な病院と一体化した大きな建物にし、町民の皆が誰でも入所できる施設を望みます。今では、町外の施設に多くの方々が入所しております。町民の方々に便宜を計ってほしいです。
- 「人ごと」ではなく「自分ごと」として、町も民間も皆が全体となって良い方向を向いていけたら良いですね。
- 子供達が休日に楽しめるような場所がもっとできたらうれしいなと思います。

- 豊かな自然環境と都市（北見、美幌）からの程良い距離間で自分にとっては過ごしやすい環境。そう思える人達が増えとうれしい。まちづくりに議論は不可欠。町はネガティブな意見に負けず頑張してほしい。ネガティブな意見を訴える人達はキチンとした対案を示してほしい！
- 広報が不十分だったり、変更不可能なことがらのアンケートや住民の意見募集の集会を行う点は不満です。
- 子どもの高校入学のタイミングで町外へ家族が引っこすパターンが多い。町外の高校へ通う子供たちにもっと補助を出すべき。親の負担を減らすために送迎バスがあってもいいと思う（もちろん有料で）
- 住民がまちに貢献できているという実感を得られることができること、そして還元されることが見えれば幸福度は上がると思う。楽しいまちになればいい。
- 若者の意見を取り入れ、活躍できる体制作り。議会の若返りを望みます。
- 生活する上での物資不足、ほかの町での買い物（物資があってもほかの町より高価である）子供の病院等が不便である為に、何をするにしても時間がかかる。
- 観光業にもっと力を入れて売る（利益が出るもの）ための何かを考え、町に財力を付けて、雇用できる町に変える事。
- 人口減少は避けられない中でも、「東川町、鶴居村、上士幌町」等の様に、全道の中でも特徴のある施策が成功している例がある。当町でも特徴あるアイデアを持つ起業意欲のある人物の発掘に全力を注ぐべき。
- 町が考える、町づくりに町民が参加できる様になれば良いのでは、すべて町作りにおいて町が先頭に立つのではなく、ボランティア含め、町民にやってほしい事があれば、町民にお願いするような形に自分が住んでいる町（津別町）なのでアンケートを郵送ではなく、直接町民に出向いて声を聞いては良いのでは。
- 正直、私自身、町の取り組みについて不満を持ったことはありませんが、このアンケートを読んでみて、自分が町のいろいろな取り組みについて、あまりにも知らないことが多すぎると痛感しました。何より、無関心、無責任な自分が悪いのですが……。私の様な者にでも分かりやすく、情報が行き渡るような方法はないのでしょうか……。
- いまさら人口は増えない。人口が少なくても、住民の満足度の高い「まちづくり」は可能だと思う。環境整備が終わったら、住民の「いきがい」や「誇り」がクローズアップされるあ地づくりを目指してほしい。
- 年金生活者にとって、水道料や介護保険料が高く、負担を感じます。少しでも安くならないのでしょうか。若い方が将来に対する不安（年金、保健等）が減り、希望の持てる社会にならないのでしょうか……。

## 4 意見に対する回答

調査にご協力をいただいた方からたくさんのご意見をいただきました。この意見は、今後の事業の見直しや予算編成等に反映していくための基礎資料として活用してまいります。

いただいた意見には、制度を誤って理解されているものや、事実とは異なるもの等がありましたので、次のとおり回答いたします。参考として下さい。

### 【問8】「バス無料」及び「重度障がい者タクシー券」の取り組みについて

<ご意見>

バス無料券とは北見行きまた美幌行きそれとも町内だけなのでしょうか？（タクシーもよくわかりません）よくわからないのですが、町民がわかる説明がほしいです。

《回答》

いずれも令和3年広報つべつ5月号とともに配布いたしました「くらしのガイド」に記載しておりますので、参考にご覧ください。

- ①バス無料乗車券は、満70歳以上の方、身体障がい1～3級の方とその介護者、療育手帳の交付を受けた方とその介護者及び精神障害者保健福祉手帳を交付された方が交付対象者で、年間36枚の全線利用券が対象者の方に申請に基づき配布され、1枚の券では、片道について利用可能です。利用範囲は、美幌線の津別・美幌間と開成線の津別・北見間になります。また、町内は、まちバスが無料で利用可能ですが、まちバスの走行しない、活汲方面の4つの地域の方には、開成線利用までの活汲方面から津別までの町内利用券が別途年間24枚配布されています。
- ②重度障害者無料タクシー券は、「重度障害者」に該当する、身体障がい者のうち、視覚障害1級又は2級に該当する方、下肢・体幹障害1級又は2級に該当する方、心臓・腎臓又は呼吸器の機能障害1級に該当する方。特別児童扶養手当の支給が認定されている障害児の方、療育手帳Aの交付を受けている方、精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方が対象で、申請に基づき交付されます。地域によって配布枚数が異なり、概ね市街地の方は年間24枚、遠隔地区の方は年間36枚です。使用範囲の制限は、ありませんが、乗車可能なタクシーは、有限会社津別ハイヤー所有のタクシーになります。タクシー券1枚で乗車できる範囲は、基本料金相当の距離になります。複数枚を使用する場合は、基本料金×使用枚数の計算で使用可能です。

<ご意見>

バス券について、もし使わないときの分バス会社はその分も支払いをしてしまっている旨を聞いたことがあります。・・・そんなことはないとは思っていますが、実際は？使用した分ですよね。

《回答》

本事業に関しては、使用されたバス無料乗車券を添付して請求がなされ、北海道北見バス株式会社に、お支払いしております。

**【問 1 1】「社会教育」の取り組みについて**

<ご意見>

有料にして良いと思います。(かるっちゃつべつ) 指導員はボランティアで良いと思います。

《回答》

総合型クラブかるっちゃつべつの運営方法等は、団体にお任せしていますが、生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を推進するためにも、行政だけが事業を実施するのではなく、町が実施してきた事業の一部を団体が地域の人材を活用し運営しています。(かるっちゃつべつ) 指導員については、ボランティアではなく報酬を支払う必要があると認識しています。